



京丹後市
きょうたんごし

市議会だより

まほるば



楽しい水あそび(峰山幼稚園)

インターネットで議会が見られます!



<http://www.city.kyotango.kyoto.jp>

議会の一般質問(録画)やライブ放送(会期中のみ)が、市のホームページでご覧いただけます。

6月議会

議会構成	2
条例	3
補正予算(一般会計・特別会計)	4~5
指定管理者の指定 ほか	6~8
一般質問(22人)	8~19
市民の声・あとかぎ	20

2006年8月

第9号

●9月定例会予定●

9月1日	本会議(招集日)
9月12日~14日	本会議(一般質問)
10月2日	本会議(最終日)

6月議会

平成18年第2回京丹後市議会6月定例会は、6月2日に招集され、28日間の会期で29日に閉会しました。

平成18年度一般会計補正予算1号・2号、特別会計補正予算、指定管理者に関する議案を含めて、条例など68件が上程されました。

1号補正では、(仮称)京都工芸繊維大学京丹後研究センターの整備や小中幼稚園校舎の耐震化優先度調査委託料などが、また、2号補正では指定管理者に伴う委託料などが提案され、審議の結果、全ての議案を可決しました。

議会構成決まる!

議長 弘三 信之
副議長 池部 松本
監査委員 今度 池部 松本

就任のごあいさつ



議長 今度 弘

議会と理事者は車の両輪

このたび議長の重責を負うこととなり、身の引き締まる思いであります。

4年間の任期の折り返し点をむかえた今、厳しい財政事情の中にも夢のある「まち」づくりが強く求められる中で、京丹後市のまちづくりの基礎となる《京丹後市総合計画》の策定も終え、いよいよ平成18年度は総合計画に基づいた特色ある京丹後市政が本格的に始動する年であります。

議会と理事者は車の両輪であることを基本にしながら、審議機関としての議会機能を十分に発揮し、ガラス張りの開かれた議会の中で十分な議論が行えるように心掛けてまいります。

また、常に市民の立場に立った、一党一派に偏しない、公平公正な議会運営に努めると共に、市民の代表である議員一人一人の意見を大切にして市政に反映するよう努める所存であります。市民各位の議会に対するいっそうのご理解とご支援をお願いします。

また、常に市民の立場に立った、一党一派に偏しない、公平公正な議会運営に努めると共に、市民の代表である議員一人一人の意見を大切にして市政に反映するよう努める所存であります。市民各位の議会に対するいっそうのご理解とご支援をお願いします。



総務常任委員会

◎井谷 實夫
○森口 亨
石河良一郎
奥野 重治
川村 博茂
田茂井誠司郎
松田 成溪
松本 聖司

所管事項
企画政策部、総務部、生活環境部のうち市民課、消防本部など。

厚生常任委員会

◎行待 実
○池田 恵一
小牧 耕一
大下倉禎介
谷口 正博
松本 経一
森 勝

所管事項
生活環境部のうち医療保険課、保健福祉部のうち生活福祉課など、市立病院、上下水道部。

産業建設常任委員会

◎原 敏久
○中西 弘
今度 義弘
川浪 将義
高山 充男
野村 重嘉
早川 雅映
吉浪 芳郎

所管事項
農林水産部、商工観光部、建設部、農業委員会。

教育環境常任委員会

◎松尾 信介
○平林智江美
浅田 武夫
池部 皓三
岡田 修
大同 衛
松本 信之

所管事項
保健福祉部のうち子育て支援課、教育委員会、生活環境部のうち環境推進課。

議会運営委員会

◎奥野 重治
○大下倉禎介
石河良一郎
小牧 耕一
谷口 正博
中西 敏行
野村 重嘉
松本 聖司
森 勝
井谷 實夫
行待 実
原 久
松尾 信介

※各委員会の◎は委員長、○は副委員長です。

条例の制定や改正

よりよい医療確保のために 制度や待遇を改善

市医療改革改善推進会議 条例の制定

市全体で医療確保を進めるための方策や市立病院の経営改善等、さまざまな助言をいたしたために推進会議を設置する。

委員10人は、公募するの。

公募は考えていない。会議は公開するの。

場合によっては公開、または、非公開もある。

この推進会議に何を求めるのか、達成目標は何か。

医師の確保・体制、患者本位の医療、機能分担、保健・福祉の連携等審議会の答申に基づき、多面的にアドバイスいただきたい。

採決 全員賛成で可決

市職員の勤務時間休暇等の条例の一部を改正

人事院規則の改正趣旨に

採決 全員賛成で可決

基づき、育児や介護を行う職員の早出遅出勤務の対象範囲を拡大する。



久美浜の放課後児童クラブ

市一般職員給与の特例条例の一部を改正

本年四月から一般職員の給与および手当等に特例で3.7%の減額措置をとっているが、医師確保の困難性等

を考慮し、医師については、この特例を適用しない。

減額を決めた3月議会までの医師対応と今回の改正での職員組合との話し合いは。

医師には、事務長や院長を通じて伝えた。その後、幹部からの申し出で、今回の改正を決定した。

二つの職員組合には、担当課長から伝えたが、特に反対という反応はなかった。

最近では確保が難しい看護師も、改善すべきだが。

今回の改正は、医師確保という面からの苦渋の選択だと理解いただきたい。

市長は、これがベストと考へての提案なのか。

一般職員の減額措置自体つらいものがある。別の次元で、医師は専門職として民間とも競合する中、市一丸となって医療確保を図るためにご理解願いたい。

反対討論 松田成溪議員

辺地にある本市の医師の勤務条件は悪く、よい待遇

採決 賛成多数で可決

市一般職員給与の特例勤務手当条例の一部を改正

医師業務手当のうち、病院副院長の手当については、業務に応じて幅をもたせること、また、医師の初任給調整手当が、一定の経過年数で減額となるため、医師業務手当の20%の範囲内で調整し、給与が減額しないように考慮する。

採決 全員賛成で可決

20リットルのマイボトルを採用

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正 市指定の現在の45リットルと30リットルのごみ袋を市民要望により、審議会の答申を得て、新たに20リットル袋を、10月か

ら採用する。

従来の袋を含め、結びやすくならないのか。

在庫があり、新しい製作段階で検討したい。

提案の袋は、15円と安い設定だが、考え方は。

現在の30リットル袋が20円であるので、15円とした。この袋を採用することで、ごみの減量化にも繋がっていくと期待している。

提案の前段階で、市民のニーズをどう吸い上げたのか。

ご意見箱での要望に加え、区長会等でもご意見をお聞きしている。

採決 全員賛成で可決

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給条例の一部を改正

法律改正の趣旨に基づき、分団長、班長の階級で、10年以上25年未満の退職団員の退職報償金を2千円増額する。

採決 全員賛成で可決

補正1号で2億9,147万円の増額、補正2号で9,310万円の減額、補正後286億4,837万円

幼稚園・小中学校の耐震化調査を開始 学公連携による研究センターを整備

第1号 主な内容

- ・学公連携基盤整備事業
(仮称) 京都工芸繊維大学京丹後研究センターの整備
..... 4,479万円
- ・小中幼稚園校舎の耐震化優先度調査委託料
..... 1,914万円
- ・障害者福祉サービス等利用支援費
..... 1,154万円
- ・介護保険利用者支援緊急対策事業助成金
..... 249万円
- ・ミニ可燃ゴミ、不燃物ごみ袋作成経費
..... 1,076万円
- ・網野銚子山古墳の測量調査経費
..... 460万円
- ・自治宝くじコミュニティ助成金(調理用機器等)
..... 1,086万円
- ・大宮町森本地区ほ場整備事業の調査費
..... 1,250万円
- ・化学消防ポンプ自動車購入経費
..... 4,516万円



丹後研究センターとして活用が望まれる市の遊休施設(網野町)

質疑 小中学校、幼稚園校舎の耐震調査のスケジュール・費用は。
答 耐震優先度調査を10月ぐらいまでに。経費は10分の1程度で済む。
問 学公連携基盤整備事業で先方との協定の経過は。
答 大学の2研究室の学生が集い、活動する。延べ365人、480日間の利用予定。
問 京丹後研究センターへの投資効果を市民にどう説明する。

問 明するの。
答 第2キャンパスとなれば大変うれしい。
問 工芸繊維大学関連の多額の予算がなぜ補正での提案か。
答 夏の授業からの活動に意味がある。
問 地産センターの補助金の内容は。
答 丹後のブランド品をPRする催し物でのスタッフへの補助。
問 医療改革改善推進会議はどう進められるのか。
答 10名で7月から10月まで2回開催したい。
問 細川ガラシャ、ゆかりの地の宣伝予算についてどのような効果があるか。
答 丹後七姫の一つとして売り出していく。
問 丹後七姫の株の市の持分は。
答 51%となる。
問 反対討論 平林智江議員
市の財政が大変厳しいからと、補助金一律カットなどで捻出した大切な財源を使つての補正が市民の暮らしを応援することになっていない。
問 反対討論 森 勝議員
障害者自立支援法施行に伴つて市の独自の施策が不十分である。工芸繊維大学との提携予算は、効果に疑問を感じる。
賛成討論 大同 衛議員

第2号

主な内容

平成18年9月1日から指定管理者制度へ移行する47施設(28グループ)について、施設の指定管理に伴う委託料の予算を決定した。
指定管理移行により、歳入は使用料・手数料が7,913万円減額、諸収入も1,375万円減額になった。歳出は商工費9,750万円などが減額された。

- 主な委託料を伴う公募施設
- ・天女の里交流施設
 - ・丹後半島森林公園
 - ・弥栄あしぎぬ温泉
 - ・浅茂川温泉静の里
 - ・小町公園
 - ・豪商「稲葉本家」

反対討論 松田成溪議員
指定管理者制度への移行の予算であり、住民サービスの後退、労働者の労働条件が保障されない。新たな不正、癒着の温床となる恐れもあり反対する。
採決 賛成多数で可決

平成18年度特別 一般会計補正予算

国民健康保険直営 診療所事業

給与条例改正に伴う医師給与の予算組み替え。
補正額 0円
補正後4億3,800万円

採決 全員賛成で可決

公共下水道事業

公共下水道(網野・峰山処理区)、特定環境下水道(大宮処理区)の施設改良費増加など。
補正額4億4,600万円
補正後33億4,000万円

採決 全員賛成で可決

工業用地造成事業

新たな工業団地整備に伴う調査経費の予算組み替え。
補正額 0円
補正後 3,410万円

質疑

機械金属系の5社程度から立地の意向が示されて

問 いる。場所についての希望はどうか。
答 交通アクセスを重視して欲しいとの希望は強い。
問 市の経済を支えている零細業者にとっては利用しにくいのでは。
答 企業拡張の意欲を受け止めるため造成が必要だとする。
問 5社は、いつごろの取得を希望されているか。
答 長くても3年以内に判断したいという意向である。
問 場所選定は。
答 まだ、決定はしていない。今秋までに事前調査を実施し、「市工業団地造成地選定審査委員会」で決定する。

反対討論 平林智江議員
市の経済を支える零細業者にとつては利用しにくい。場所決定もまだであり、造成費などもいくらかかるかわからないなど、よく見えない予算となっている。
賛成討論 森口 亨議員
トップリーダーの企業が伸びること、波及効果がある。新しい工業団地のあ



赤坂工業団地

り方も検討すべきである。
賛成討論 浅田武夫議員
仕事のあるまちづくりを求める中で、いろいろな業界に波及効果のある企業を支援するのは当然である。
賛成討論 中西敏行議員
地元における事業拡大の場として、新たな団地整備のニーズに応え、若者定住や雇用創出を図るべきだ。
採決 賛成多数で可決

病院事業

給与条例改正に伴う医師給与の補正。
補正額 500万円
補正後55億9,041万円

反対討論 森 勝議員

医師のみ給与引き下げを戻すとのことであるが、職員の中に二本立ての給与体系ができ、公平の原則を崩すものであり、反対である。
採決 賛成多数で可決

平成17年度一般会計 補正予算第8号(専決処分の承認)

主な内容

- ・財政調整基金
余剰財源が生じたために積み立てる。
補正額2億5,000万円
- ・保育所管理運営事業
請負減などの減額。
補正額 1,022万円
- ・生活保護費支給事業
保護基準額の見直しや扶養費支給実績が当初予算額を下回つたので減額。
補正額 5,679万円
- ・温泉補助事業
市内業者の温泉源泉改修工事の補助金
補正額 142万円

工芸繊維大学の丹後研究センター予算については、長期的視点に立つてPR効果がある。産業振興などぜひ必要である。
採決 賛成多数で可決

問 温泉補助事業がなぜ追加になったのか。専決でしなければならぬのか。
答 早急に復旧したかったが、3月補正には間に合わなかった。
反対討論 森 勝議員
予算が、過大な見積もりなのか、今回の補正での不要額が多額となっている。今後しつかり組み立てて頂きたい。
採決 賛成多数で承認

質疑 保育所材料代等多額の減額になっているが、子どもに不便をかけていないのか。
答 経費の節約をしながら事業は適正に実施している。
問 食材の質を落としたりしていないのか。
答 管理栄養士がしっかりと献立をたて、適正にやっている。

問 網野最終処分場の修繕費が減額になっているがなぜか。
答 施設の維持管理を適正に行いながらやってきた結果、不要になった。
問 温泉補助事業がなぜ追加になったのか。専決でしなければならぬのか。
答 早急に復旧したかったが、3月補正には間に合わなかった。

反対討論 森 勝議員
予算が、過大な見積もりなのか、今回の補正での不要額が多額となっている。今後しつかり組み立てて頂きたい。
採決 賛成多数で承認

指定管理 25議案を審議し認定

指定管理者制度の導入により、観光関連施設を中心に、公募34施設、非公募9施設について、本会議、常任委員会にて質疑討論

主な条例の質疑・討論

弥栄生きがい交流センター
高齢者の生きがい活動支援と在宅福祉の充実を図る。

質疑

問 今の事業・サービスの低下はないか。
答 要項どおりで低下しない。

賛成討論

森 勝議員
地元の申請がないが、地域交流の大きな役割を担っている。このような施設については、委託料の増額等も必要。

採決

全員賛成で可決

天女の里交流施設

地域農業の振興と住民の生活向上を図る。

質疑

問 応募があった2つの団体の過去の財務状況の健全性の判断ができたか。
答 収支計画・資金の妥当性は専門家の評価もある。新しい団体は、その項目もある。

賛成討論

松本信之議員
地元の人々がたいへん頑張っている。

採決

全員賛成で可決

宇川温泉よし野の里・経ヶ岬コミュニティセンター

てんきてんき村関連施設の一部。

賛成討論

浅田武夫議員
管理料を求めない中で、他施設と連携し、付加価値をつけ、地域の核となり活性化されることを期待する。

反対討論

森 勝議員
市の審議会等の委員に専任された人が、指定をされることは、公平性の面で疑問視される。

採決

賛成多数で可決

丹後半島森林公園他3施設

自然の中で、人々の健全な野外活動と休養の場の提供する。

質疑

問 スイス村関連施設の運営の定義づけは。現在3名の職員が企画立案等がかかわっているが、今後どうか。
答 指定管理になっても定数は変わらない。職員は全部引き揚げるが、必要により配慮する。

反対討論

平林智江議員
経費削減で、公の施設の目的達成が困難になる。労働条件の低下が懸念される。

採決

賛成多数で可決



楽しい温泉プール

張っている。大型バスが入れば利便性が向上する。

採決

全員賛成で可決

浅茂川温泉静の里・網野温泉プール

健康の保持と増進を図り観光振興の拠点とする。

質疑

問 観光施設全体として、8月末の商品等の在庫処分の方法と冬季の駐車場の除雪と大修繕の場合の業者選定は。
答 柵卸は7、8月で整理する。除雪は、今後の協議



市民の憩いの場（あしぎぬ温泉）

市民の健康と福祉の向上を図る。

質疑

問 営業時間の変更は、労働条件にかかわるが、行政がチェックできるか。
答 基本的には管理者の業務の中のこと。しかし、条例変更等については協議、意見もあるかと思う。

反対討論

平林智江議員
労働条件を管理できない中、24時間営業の提案など、労働条件遵守に不安を覚える。

賛成討論

谷口正博議員
民間委託のメリットは経費削減である。共産主義的な平等性は、労働意欲をそぐ。

採決

賛成多数で可決

である。大修理は市で、小修繕は指定管理者の負担となる。

質疑

問 一般として、雇用・労働法規の遵守は当然だが、市の条件・指導はあるか。法人経営状況等の審査のあり方は。
答 募集要項の中に、引き続き勤務を希望する者の雇用継続の項目がある。しかし、個々の待遇面の縛りはかかっていない。経営状況は、税理士2名に評価していただいた。

反対討論

森 勝議員
応募者の中には、市の審議会等に入っている人がいるが、選考委員会における基準、審議過程は。
答 公選で選ばれた者（市長）を排除し、職員を多くして客観性を持たせた。また点数化により透明性を確保した。

反対討論

森口 亨議員
業者選定の経過に異論はないが、受け付けるべきでない申請書を受けたことに問題がある。よって、それに基づいた認定に反対する。

反対討論

森 勝議員
効率性が主たる目的であるので、サービス低下や市民軽視の新たな不公平も心配され、住民の福祉の向上

賛成討論

池田恵一議員
法人の場合、温泉だけの決算書が出ないので、収支報告書が公正であるよう希望する。

採決

賛成多数で可決

指定管理者議案の全体質疑

問 営業で赤字が見込めない場合や、期間内の継続が困難なときの撤退はどうか。
答 独立採算制について確認済み。協定の項目にあるので、そのつど判断される。

質疑

問 今の委託先で公募に参加しなかった団体の総括が、今後にも生きる。施設の価値を高めるために協議会の設置は。
答 どちらも、大事な視点であり、課題とし検討する。

質疑

問 指定管理者に移行し、年度の管理料であり、財政効果は850万円程度であることの評価と課題は。
答 財政効果と同時に費用対効果も総合的に判断する。たとえば、観光政策の中で、ネットワークの視点、プライベートセクターを含めた全体の課題の中で捉えたい。

採決

賛成多数で可決



竹野川から望む、てんきてんき村オートキャンプ場

の理念が崩れかねない。

賛成討論

早川雅映議員
飲食・土産物部門は、指定管理に含まれていないが、一括委託すべし。宇川温泉が独立採算であること考え、管理料の見直しも必要。

採決

賛成多数で可決

道の駅（てんきてんき丹後）他5施設

農山漁村の生活文化と都市住民との交流と振興を図る。

質疑

問 土産物等の販売の再委託の考えは。
答 第三者にすべての業務を委託することはできない。

賛成討論

池田恵一議員
雇用・累積赤字等の問題を抱える中で、設置目的を達成できていないが、地域の観光振興の拠点とし期待する。

採決

全員賛成で可決

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願書

【請願者】京都市法書士会
日本司法書士政治連盟京都支部

【請願の要旨】

国会及び政府に対し法律を左記のとおり改正することを強く要請する。

記

- ・ 出資法の上限金利を、利息制限法の制限金利まで引き下げる。
- ・ 出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。
- ・ 貸金業規制法第43条のみなし弁済規定を撤廃すること。
- ・ 利息制限法の制限利率を市場金利に見合った利率にまで引き下げる。

請願に対する賛成討論

森 勝議員

サラ金被害の根絶、多重債務者の救済に大きな役割を果たすものだ。本市の市民相談室でも相談が極めて多く、対策も必要だ。

意見書に対する賛成討論

松本聖司議員

多重債務者の減少が本来の目的だ。違法業者の排除、業界自主規制の強化、セーフティネットの構築が必要だ。

京丹后市議会として全員賛成で可決したので、国会及び関係省庁へ意見書を提出しました。

提案や計画の妥当性をチェック

三位一体の改革や地方交付税の縮減など、国の財政支援制度が大きく変わる中で、京丹後市の財政状況はますます厳しくなることが予想されます。そのため、市は、昨年から、行政事務の見直しや財政健全化を目的とした行政改革を、5年間で実施するとして、計画策定に着手しました。

三位一体の改革や地方交付税の縮減など、国の財政支援制度が大幅に変わる中で、京丹後市の財政状況はますます厳しくなることが予想されます。そのため、市は、昨年から、行政事務の見直しや財政健全化を目的とした行政改革を、5年間で実施するとして、計画策定に着手しました。

市の財政健全化

5年後の市予算適正規模を270億円として縮減を図る。

- ・人件費 18億円削減
- ・職員数 225人削減
- ・物件費 7億円削減
- ・補助金見直し
- ・事務の外部委託
- ・人材派遣会社の設立

事務事業の効率化

職員の定数削減に伴って、事務事業の縮減と効率化を図る。

- ・会館施設の民間管理
- ・外郭団体の組織見直し
- ・事務事業のスリム化
- ・行政サービスの向上
- ・新しい行政経営確立

市民との協働

市民参加型のまちづくり（協働・共創）を確立する。

- ・市民と行政の協働
- ・アウトソーシング
- ・民間委託、民営化
- ・組織機構の再編
- ・情報化、情報公開

特別委員会取り組みのポイント

6月定例議会 22人が登壇 一般質問 ～市政を問う～

掲載は質問順とし、質問議員から提出された原稿を原則掲載しています。質問・答弁とも要約です。詳細については、質問議員にお問い合わせいただくか、市のホームページ・議会コーナーで、録画が公開されていますので、ご覧ください。なお、今定例会より、一般質問の一人当たりの持ち時間を定め、年間の発言時間を90分以内としました。

6月定例会一般質問終了後に会派の再編がありましたのでお知らせします。（掲載している一般質問の会派名は、会派再編前のものです。）

会派名	構 成 員	
輝友会	◎小牧 耕一	浅田 武夫
	奥野 重治	高山 充男
	松本 信之	行待 実
日本共産党	◎森 勝	平林智江美
	松田 成溪	
公明党	◎池部 皓三	松本 聖司
	◎石河良一郎	池田 恵一
丹政会	川浪 将義	大同 衛
	谷口 正博	田茂井誠司郎
	原 久	松尾 信介
	森口 亨	吉浪 芳郎
	◎野村 重嘉	井谷 實夫
市民派クラブ	◎中西 敏行	岡田 修
双輪会	◎大下倉禎介	川村 博茂
志政会	◎今度 弘	早川 雅映
無会派	松本 経一	

会派は結成届け順 ◎は代表者 <6月末現在>

保育所の統廃合・民営化は議論が不十分 市長 さらに丁寧な議論を積み重ねていく 日本共産党 平林 智江美

問 保育所の統廃合・民営化についての、再編計画案がだされたが、この案には、大きな問題点がある。市民との議論が不十分であること。もうひとつは、子どもの保育をどうするかは、財政的にどうするかは、財

「なかなか、担任の先生と話ができない」「二クラスの子どもの数が増え、目が行き届かない」など子どもへの影響を聞いている。大宮南保育所・久美浜こ

問 なぜ、民間移管なのか、はっきりとした説明がないか。市長 市立保育所の数が近隣に比べて突出している。保育ニーズが多様化している。「官

問 ニーズが多様化しているなら、公的責任で充実すべきである。市長 相談窓口はまだ設置していない。医師確保は、懸命に努力している。



みんな仲よし（野間分園）



透析患者を日高病院まで送迎する（出発6時30分）

外出支援サービスを後退させるな 市長 実態を調べ検討する 日本共産党 松田 成溪

問 利用できる人が、昨年1221人だったが今年426人（昨年比35%）に減らされた。なぜか。市長 これまでではそれぞれの自治体の基準が

ゆるがされていたが、この4月から一律的な基準で運用しよう通達が出た。しかし、現状でいいとは思っていない。実情を調べ、必要なことをしなくてはならない。

問 久美浜の人工透析患者はほとんど日高病院へ週3回通われている。その外出支援サービスの料金が、昨年度

までは片道500円だったのが4月からは900円と1.8倍に値上げされ、悲鳴が上がっている。安心して透析が受けられるよう、もっと支援ができないのか。

問 このような大事な問題は、議会や住民の合意を得た上でなければ設立しないという方向でとりくむべき。市長 その手続きはとも大切なこと。